

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すだち		公表日 2025年1月5日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	集中する部屋とブレイルームが分かれている。	職員の体制によっては十分に確保できていない時があるのでパーテーションやカーテンを使うようにしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	小集団で出来る遊びをたくさん覚え、子ども達に提供している。	送迎の時間などで職員が不足していると感じる時もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玄関前のスロープを活用している。視覚から分かりやすくように絵カードを使っているところもある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	棚の角などにスポンジを使い、転倒しても重大事故につながらないようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	ブレイルームと勉強部屋がわけられている。	必要に応じてカーテンなどを活用していくようにする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・パートさんなど、限られた時間でも話が出来るような環境作りや連絡ツールの活用。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケートの内容を職員間で周知し、改善に繋げるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・定期的に研修や職員会議が行われている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・研修に参加して、職員には積極的に受講してもらおうようにしている。	・研修内容などの通知がスムーズに行えるようにしていきたい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・保護者の方には活動プログラム（キラッとメニュー）毎月配布している。	・公表は現在行っていないので、年度中に八行えるように整えていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員全員がいつでも見られるようにファイルしてある。保管は鍵付き書庫。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・職員全体で話し合い、様々な意見交換をしている。その上で具体的な支援内容を設置委するようにしている。	・同じような内容にならないように意見を言いやすい管きやを作りを行っていくことが必要である。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々の活動内容を職員全員で話し合っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・同じような内容にならないように心がけ、施設の子どもに合った内容を心掛けています。 ・活動内容が毎日変化するように作成している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの特性を職員で話し合い、個別・集団の支援を考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・子どもが来所する前に打ち合わせをする時間を作っている。	・下校時刻の変動などで難しい事もある。ノート等を使用していくことも検討中。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	起きた出来事を話し、共有し、次の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・記録を取りながら、職員間で話し合うようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・保護者の思いや本児の思いを聞き取り、支援計画に取り込んでいくようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自己決定をする場面を作っていく、その場面で子どもの意思を尊重するようにしている。	・促してしまうこともあるのでその子の言葉を聞けるように待つことが大切だと職員間で周知徹底していきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校との連絡はその都度行っている。	下校時刻の変更などの連絡調整をしっかりとしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	移行する利用者がいなく情報を提供する機会がない。	相手がどのような情報が必要なのかを整理して、準備して置くようにする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・公園や地域の施設に遊びに行くことで交流を行っている。	児童クラブの子たちとの関わりがあまりない。今後どう交流を行っていくのか話し合っていくことも検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳を通して、子どもの様子を知ったり、送迎時に保護者の方と話が出来る関係作りを行っていくようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・相談があれば、時間を設けて面談をお行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に行うようにしているが、その都度疑問に思っていること等を聞けるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・送迎時などに時間を作っていただき、説明するようにしている。	・事業所に来てもらい、ゆっくり説明や話を聞く時間を作っていただくことをもって行った方が良いと感じる。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要に応じて家庭支援をおこなっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	・保護者の方からの要望があれば、検討する。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・今のところ苦情はないが対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月、活動内容の手紙を配布。ブログの更新を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵付きの車庫に施錠をして保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・保護者様とは連絡帳などを通して、伝えるようにしている。	・ブログなどを通して、活動中の様子などをより見てもらえるようにしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・送迎時などに出会う人にはスタッフが率先して挨拶を行っている。	・地域住民との関わりがあまりなく、あいさつ程度になってしまう。イベントに招待することは難しいように感じる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・定期的実践研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・定期的避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・契約のアセスメント、モニタリングの際に確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者からの聞き取りをきちんと行うことで対応していくようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・事業所で見直しが必要な場合など話し合っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・職員間での研修後に保護者様へのおたよりを配布し、周知出来るようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・事例がある場合は事業所全体で研修を行い、再発防止に努める体制は整っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修を行い、虐待防止について学び、毎月チェックシートで自分を見つめ直しています。 ・定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・現在、必要な利用者はいない。研修を定期的に行い、周知するようにしている。		